

2026

8月号
August

Kyushu-kyoku times

九州教区だより

生活を聞法場に—真宗門徒として—

転勤のご挨拶

信國 眞一



このたび、7月1日付にて、行財政改革推進本部事務部長を拝命し、京都・宗務所に転勤することとなりました。

九州教務所に着任以来、4年間、皆さまには公私にわたり温かいご支援とご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼を申し上げます。

思い返せば、九州教区が誕生して3年目となる夏に赴任させていただき、教化と財政に関する課題をはじめ、教務所・教務支所等の設備的なこと、広域化した九州教区における山積している諸課題を前にし、焦らず一つずつ丁寧に計画性をもって取り組んでいこうと決意したことを思い出します。

そして、教区事業費会計の整備や特別会計等の整理、現行法規の改正やあるべき法規の制定をはじめ、真宗本廟奉仕や帰敬式受式の奨励、また、全国の教区では取り組んでいない所長巡回用冊子や選択制完納寺院記念品パンフレットの作成、院号法名の表装請負や使用済蠟燭の再利用と販売、教区出版の充実等々、これらの新規事業は全て教化の充実を図るための経費を捻出するものであり、また、教区費の御依頼の減額に繋がる取り組みでもありました。

特に、仏事サポートセンター福岡を建築し、様々な新規教化事業にも取り組んで参りました。このサポートセンターの取り組みは、来年度には教区事業費会計に回付金を拠出できる程に成長すると思います。そしてまた、これからの宗門を先導する先駆的な教化事業の取り組みとなりました。

4年間という短い期間ではありましたが、常に九州内を駆け回り、沢山の人に出会わせていただき、お育てを賜りました。

皆さま方のお力添えを頂戴し、なんとか務めを果たすことができたと思っております。

今後とも、引き続き九州教務所に対しましては、何卒お力添えを賜りますようお願いを申し上げ、転勤に際しましてのご挨拶とさせていただきます。誠に有り難うございました。お世話になりました。

着任のご挨拶

九州教務所長 寺田正寛



このたび、7月1日付にて九州教務所長を拝命しました寺田正寛です。前任地は、京都・宗務所の行財政改革推進本部であり、4年間、同朋社会の実現を目的とする宗門において、将来にわたって持続可能な教学振興と教化推進を基軸とする宗務機構の基盤整備をはかるべく努めてまいりました。

九州教区は、発足から7年度目を迎え、全国に先駆けて宗務改革としての教区・組の改編を具現化され、教区・組はもとより寺院・教会の将来像を創造し模索し続けている最中にあると認識しています。また、3期・3ヵ年にわたる教区慶讃法要は第2期の厳修に向けた諸準備が進められており、「宗祖の御誕生」と「立教開宗」を慶び讃えることによって、あらためて私たち一人ひとりが自ら念仏申し、そしてそのお念仏を次世代に受け渡していく歩みが進められています。

真宗大谷派という宗門は、念仏を本として、人と人との互いに信頼し尊敬しあって成り立つ、一般的な常識でははかりえない価値観によって形成される集まりであると思っています。

現下の課題は山積しておりますが、九州教区を形づくるお一人お一人の声を聞かせていただきながら、将来に向けた魅力ある九州教区のために、共に尽力させていただきます。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

教化事業等のご報告

「第3回 九州教区 教区門徒会学習会」開催

6月18日(木)、九州教務所を会場に、「第3回 九州教区 教区門徒会学習会」が開催されました。

本学習会は、九州教区参議会議員一同により発案され、「九州教区の教区門徒会員として、宗門に関する様々な問題や事柄についての学びを深めるとともに、特に門徒を取り巻く教区の現状と課題について、意見交換・情報共有を行い、九州教区の未来を創造すること」を趣旨として開催しており、今回は3回目の開催となります。

このたびの学習会では、信國教務所長(当時)による「同朋会運動に学ぶ～運動の歩みと課題～」と題した講義の後、「第8回教勢調査」結果について松田亜世氏(企画調整局出仕)から報告をいただきました。

その後、座談会が行われ、「同朋の会」の結成の促進や、帰敬式受式の奨励、『同朋新聞』配布拡大、男女共同参画推進の方途等について様々な意見が交わされ、充実した学習の場となりました。





「是旃陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』学習会」を開催

九州教区教化委員会 総合教化本部が編成する「是旃陀羅」問題に取り組む推進チームの企画により、「是旃陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』学習会」が5月29日に大分東組にて、6月15日に田川組にて開催されました。今回は課題共有に向けた取り組みとして開催され、大分東組には28名、田川組には21名が参加しました。

大分東組では、横田亮雄氏（九州教区解放運動推進協議会会長）より問題の概略をご説明いただき、テキストの輪読・座談を実施。田川組では、杉山寧氏（解放運動推進本部 本部委員）により、テキストに沿った学習スライドを使用した講義をいただき、その後、質疑応答が行われました。

座談や質疑は、輪読・講義を通しての感想や気づきを共有する時間となり、参加者からは「何が問題なのかを理解できた」「継続してテキストを読みなおしたい」といった声が寄せられました。

このたびの学習会をとおして、「是旃陀羅」問題の本質を受け止める学びの場を共有するとともに、あらためて『仏説観無量寿経』序分を正確に読み直す必要性を共有する場となりました。

今後、当推進チームにおいては、本学習会をきっかけとし、各組や地域で継続的な学習の場がつけられるよう、その具体化に向けた取り組みを進めてまいります。



大分東組（会場：ホルトホール大分）



田川組（会場：田川組 法光寺）

九州巡回都市講座

「仏教入門講座トークイベント in 長崎」を開催しました

2026年6月25日（木）、CAFE OTTO DEJIMA（長崎市）を会場に、「仏教入門講座トークイベント 自分とか、ないから～仏教にたずねる現代（いま）の生き方～」を開催し、40名の方々にご参加いただきました。

本イベントでは、ベストセラー『自分とか、ないから。教養としての東洋哲学』の著者である、しんめいP氏（作家）をトークゲストにお迎えし、ご自身が出あった「仏教の視点」を通し、これまで仏教の教えを聞く機会がなかった方も気軽に参加することができるトーク型のイベントとして実施しました。

当日は、しんめいP氏によるゲストトークや運営スタッフを交えたトークセッションに加え、参加者の皆様からの質問コーナーも設けられ、和やかなひとときとなりました。

参加者からは「カフェを会場に仏教を学ぶ試みが新鮮だった」「これまでの法話会では聞いたことがないような表現で仏教について教えていただいた」「仏教の話が自分にとって身近なことだと気づかされた」などの声が寄せられました。





教化事業等のお知らせ

「非核非戦法要」を勤修

本年も原爆投下の地、長崎において「九州教区 非核非戦法要」を勤修いたします。

どうぞ有縁の方々と共にぜひご参拝ください。一人でも多くの方のお参りをお待ちしています。

なお、当日の様子は、九州教区YouTubeチャンネルにて配信いたします。多くの方のご視聴もお待ちしています。

期 日：2026年8月9日(日)

会 場：長崎教会(長崎市筑後町9-23)

日 程：13:30 開会・勤行

会場の長崎教会には駐車場はありませんので、お参りの際は近隣のコインパーキングをご利用ください。

次第：【碑前勤行】嘆仏偈・短念仏・回向

【勤行】伽陀 先請弥陀・(焼香)表白・阿弥陀経・経後短念仏留・

正信偈 草四句目下・同朋奉讃「十方微塵世界の」・回向

14:30 講演 講師：高橋源一郎氏(作家)

17:00 閉会



「原子爆弾災死者収骨所」改修整備工事の完了について

このたび、長崎教会にある「原子爆弾災死者収骨所」改修整備工事が6月をもちまして完了いたしました。改めまして、皆様から多くご寄付をお寄せいただきましたことに深く感謝申し上げます。

なお今後も、収骨所の存在をはじめ、「非核非戦」という言葉を多くの方々に発信していくため、積極的に取り組みを進めてまいります。皆さま方におかれましても、長崎教会における毎月9日の「非核非戦法要」をはじめ、非核非戦の諸事業につきまして、引き続きご参加・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

追って、このたびの改修整備工事内容及び収支結果を右記のとおりご報告いたしますので、あわせてご確認くださいますようお願いいたします。

「原子爆弾災死者収骨所」改修整備工事内容及び収支結果報告

【収入】内容	金 額
寄付金	5,154,890
長崎教会特別会計から	840,771
合 計	5,995,661

【支出】内容	金 額
石碑クリーニング・非核非戦文字金箔塗装	858,000
碑前参道整備、側道の伐根・落下防止用フェンス設置・アスファルト舗装	3,739,000
収骨所内外・周辺部防水工事、鉄扉塗装	1,045,000
記念品調製(非核非戦文字の写し)	282,700
事務費	70,961
合 計	5,995,661

石碑クリーニング・
非核非戦文字
金箔塗装



碑前参道整備



側道の伐根・
落下防止用フェンス設置・
アスファルト舗装



収骨所内外・
周辺部防水工事、
鉄扉塗装





仏事サポートセンター福岡からのお知らせ

「仏教入門講座 in 福岡」の開催について

このたび、ラジオや著書等で人気の川村妙慶さんをお迎えし、お仏壇のはせがわ福岡本店(福岡市)にて「仏教入門講座 in 福岡」を開催します。

本講座は、「真宗門徒だけれど、じっくり話を聞く機会がなかった」という方はもちろん、「これまで仏教や真宗に触れる機会がなかった」という方にも、お念仏とのご縁をひらき、新たに真宗門徒となっていたいただくことをも願った講座です。

当講座は、会場参加・WEB参加のいずれかがお選びいただけます。ぜひ、ご家族やご友人、有縁の皆さまをお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加くださいますようご案内申し上げます。

期 日 2026年 [第1回] 9月 6日(日) [第2回] 10月17日(土)
[第3回] 11月21日(土) [第4回] 12月19日(土)
2027年 [第5回] 1月16日(土) [第6回] 2月20日(土)
[第7回] 3月28日(日)

会 場 お仏壇のはせがわ福岡本店

日 程 開会14時～、閉会15時15分

講 師 川村妙慶氏(真宗大谷派僧侶・番組パーソナリティ)

参加費 7,000円(一括/事前/全7回)[会場・WEB]

申 込 2026年9月4日(金)まで【事前申込制】



● WEB申込はこちら➡
※お電話でもお受けいたします。



お問い合わせ先 仏事サポートセンター福岡 TEL.092-734-0208 (担当:塚寄・曾我・渡邊)



教務所からのお知らせ

2025年度 宗派経常費の御依頼収納について(御礼)

2025年度宗派経常費御依頼につきましては、寺院・ご門徒をとりまく厳しい経済状況が続く中、ご完納並びに超過進納いただきましたこと、衷心より厚く御礼を申し上げます。

つきましては、2025年度経常費収納額及び超過進納額について、右記のとおりお知らせいたします。

【同朋会員志還付金の送金報告】

御進納いただきました同朋会員志金の還付金につきまして、下記のとおり送金してます。届け出済みの寺院口座(または現金書留)をご確認ください。

【宗派経常費】

教区御依頼額	581,310,000円
収納額	592,244,865円
収納率	101.8%
完納寺院数	773カ寺
超過完納寺院数	80カ寺

◎早期完納分:2025年10月10日送金済 ◎年末完納分:2026年2月5日送金済 ◎年度末完納分:2026年7月3日送金済

2026年度 九州教区 教区会通常会・教区門徒会通常会議決事項一覧

7月23日及び24日に招集された教区会通常会・教区門徒会通常会において、下記のとおり可決されましたので、ご報告いたします。

教区会	教区門徒会	議案名
第1号議案	第1号議案	2025年度 九州教区事業費会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教務所・教務支所・会館営繕特別会計歳入歳出計決算書 2025年度 九州教区共済特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区出版特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区慶讃事業推進特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区教務所員役宅特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区伝道車特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区東本願寺熊本会館特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区四日市別院助成特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区長崎教会特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区福岡教務支所特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区寺院活性化支援室特別会計歳入歳出決算書 2025年度 九州教区緊急事態対策積立金会計収入支出計算書 2025年度 九州教区別院営繕積立金会計収入支出計算書 2025年度 九州教区長崎教会運営積立金会計収入支出計算書 2025年度 九州教区東本願寺熊本会館本堂営繕積立金会計収入支出計算書 2025年度 九州教区保管金会計収入支出計算書 2025年度 九州教務所建設資金積立金収入支出計算書
第2号議案	第2号議案	「寺院・教会の解散に係る本堂解体経費補助に関する規程」案
第3号議案	第3号議案	「九州教区別院営繕積立金会計規則」の一部を改正する規則案
第4号議案		「九州教区帰敬式実践運動推進計画」について教区会の議決を求める件
	第4号議案	「九州教区帰敬式実践運動推進計画」について教区門徒会の議決を求める件
第5号議案	第5号議案	2026年度 九州教区事業費会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教務所・教務支所・会館営繕特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区共済特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区出版特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区慶讃事業推進特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区東本願寺熊本会館特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区四日市別院助成特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区長崎教会特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区福岡教務支所特別会計歳入歳出予算(案) 2026年度 九州教区寺院活性化支援室特別会計歳入歳出予算(案)
第6号議案		第5回門徒戸数調査結果の使用について教区会の議決を求める件
	第6号議案	第5回門徒戸数調査結果の使用について教区門徒会の議決を求める件
追加議案第1号		九州教区におけるハラスメント研修実施に関する提案

人事異動について

2026年7月1日付

◎信國 眞一 (のぶくに しんいち) 九州教務所長 から 行財政改革推進本部事務部長

◎寺田 正寛 (てらだ まさひろ) 行財政改革推進本部事務部長 から 九州教務所長

敬 弔

ご生前のご功労を偲び、謹んで哀悼の意を表します

(2026年5月15日から7月16日まで)

浮邊 クニ子 様 (鹿児島組 信光寺 前坊守) 7月 8 日 寂 92歳

益田 淑子 様 (長崎組 法恩寺 前坊守) 7月10日 寂 91歳

2026年 8 月 ● 教区内行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
9日(日)	13:30～	非核非戦法要	長崎教会	高橋 源一郎
28日(金)	15:15～	御命日法話会	仏事サポートセンター福岡	玉井 崇

2026年 8 月 ● 別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
2日(日)	16:00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	長谷山 法雄
15日(土)	8:00～	土曜定例	長崎教会	田中 会響
	9:00～	長崎教会同朋の集い		
22日(土)～23日(日)	13:30～	門司教会盆法要	門司教会	信國 眞一
25日(火)	16:00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田 智哉
28日(金)	7:00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
	10:00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	相良 晴美
	13:00～	宗祖御命日定例法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	長崎教会御命日定例法座	長崎教会	教務所員
	14:00～	伊敷支院御命日同朋会	伊敷支院	大谷 直行

2026年 9 月 ● 教区内行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
6日(日)	14:00～	仏教入門講座 in 福岡	お仏壇のはせがわ福岡本店	川村 妙慶
9日(水)	14:00～	非核非戦定例法要	長崎教会	正木 慶彦
28日(月)	15:15～	御命日法話会	仏事サポートセンター福岡	大城 史雄
	19:00～	福岡都市圏親鸞講座	仏事サポートセンター福岡	青木 玲

2026年 9 月 ● 別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
2日(水)	16:00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	別院職員
8日(火)	13:30～	第2回 定例聞法会	大谷会館	菊池 晃、十時 遣
10日(木)	14:00～	大谷会館声明学習会	大谷会館	蒲池 友起
19日(土)	8:00～	土曜定例	長崎教会	田中 会響
	9:00～	長崎教会同朋の集い		
19日(土)～20日(日)		門司教会秋季彼岸会法要	門司教会	吉元 信暁、信國 眞一
25日(金)	16:00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田 智哉
26日(土)～27日(日)		長崎教会秋季彼岸会	長崎教会	—
28日(月)	7:00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
	10:00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	星野 哲英
	13:00～	宗祖御命日定例法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	長崎教会御命日定例法座	長崎教会	教務所員
	14:00～	伊敷支院御命日同朋会	伊敷支院	大谷 直行

今月のコラム

願い



世界のどんな国の宗教でも「願い」ということを言わない宗教は無いだろう。特に日本にあっては、多くの人々が、自分の願いを頼み、その願いを叶えてくれるものが宗教だと思っているのではないだろうか。しかし、その「願い」というものは、言葉を変えれば、「自分の思い・自分の都合」ということになっているのではないか。

交通安全、商売繁盛、入学祈願、家内安全、無病息災、健康長寿など、どれも自分の都合・自分の思いを満たすために願っているのではないか。それが証拠に、隣人の交通安全を願うために神社やお寺に行ったことがあるだろうか。他人の商売繁盛や合格祈願、家内安全を頼みに行ったことはあるだろうか。どうやら、この「願い」というものは、自分の都合の良いことをのみ頼む「貪欲」なのだ気づかされる。自分の思いが叶えば感謝し、叶わなければ“神も仏もあったもんじゃない”と嘆く。神社もお寺も私の願いを叶えてくださるところだと思って参るのであるならば、神も仏もみな同じ事にはなりはしないだろうか。

私たちは、いつも自分の都合を頼む。しかし、そんな「生まれてからの願い」ではなく、私の意識の底に埋もれているような「生まれながらの願い」に気づかなければならないのではないだろうか。どんな人にも生まれながらにある願い。全ての人間に共通する人類共通の願い。もっと言えば、「生きとし生けるものの願い」。それが仏さまの願いなのではないだろうか。本願の宗教は、そんな仏さまの願いに気づいてほしい、目覚めてほしいと呼びかけられ、そして、そんな仏さまの願いに生きんとする私にさせていただき歩みを賜っていくことなのではないだろうか。

改めて、「仏号むねと修すれども 現世をいのる行者をば これも雑修となづけてぞ 千中無一ときらわるる」という和讃が問いかけてくる。

2年間にわたり「今月のコラム」をお読みいただき誠にありがとうございました。このコーナーは、8月号をもって終了させていただきます。毎月、私がふと思いついた事を書き留めてきましたが、この度、転勤(7月1日付)することとなりましたので、執筆することが出来なくなりました。これまでお読みいただきました皆様に改めて深く感謝を申し上げます。 前九州教務所長 信國 眞一

今月の法語

ゆかり
九州に縁の先師を憶う



私たちの人生の争いは、
いつも善と善との争いだ

宮城 顕

(東本願寺出版：地獄と極楽)

